

延滞債権管理業務の効率化を図る  
優先架電機能など業務効率を図る多数の機能を搭載  
「UC延滞債権管理回収システム」稼動

ユーシーカード株式会社（以下、UCカード）は、延滞債権管理業務の効率化を図るシステム「UC延滞債権管理回収システム CASYS（カシス：Credit Administration SYstem）」を新たに開発し、本年9月5日より稼動を開始いたしました。

本システムは、先に稼動したリスクマネジメントシステム「UC与信戦略実行システム」と連携し、回収強化、業務効率化を実現します。

UCカードは、本システムの活用により、当初5年間で11億円の合理化効果を見込んでおり、さらに、UCカードグループの他クレジットカード会社に対して本システムの利用を推進し、UCカードグループ全体で延滞債権管理業務の合理化を図っていく計画です。

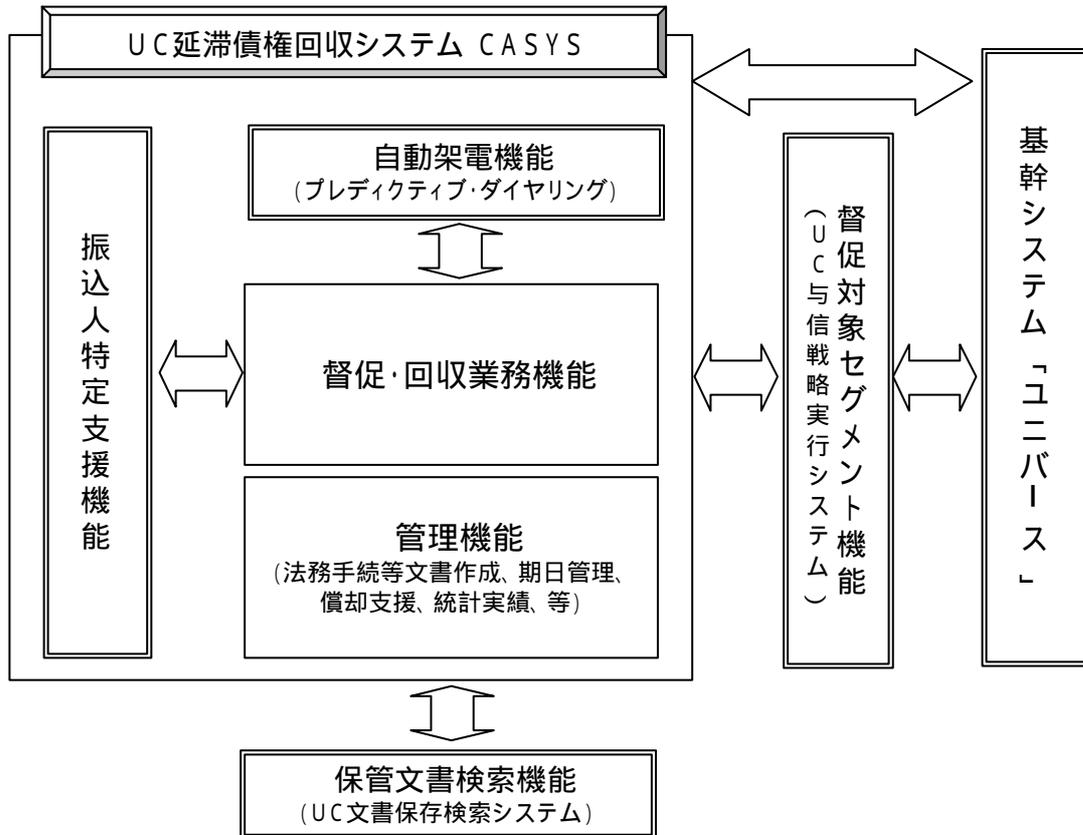
今般、新たに開発した「UC延滞債権管理回収システム CASYS」は、従来の延滞債権管理回収システムの機能に加え、さらに「UC与信戦略実行システム」「UC文書保存検索システム」等の他の既存システムと連携をすることで、延滞債権の回収強化と管理業務のさらなる効率化を同時実現するシステムです。

【「UC延滞債権管理回収システム CASYS」の概要】

1. 特徴的な機能

自動架電機能 (プレディクティブ・ダイヤリング)	予め設定した顧客リストをもとにコンピュータが自動架電し、お客様が応答したらオペレータに電話をつなぐ機能。架電効率が大幅に向上する。
督促対象セグメント機能 「UC与信戦略実行システム」との連携	お支払いが遅れたお客様を回収の難易度等により分類、対応の優先順位付けを行い、督促業務を効率化する機能。
振込人特定支援機能	お客様からの振込金について、自動的に振込人を特定、充当処理をする機能。
法務手続等文書作成機能	回収の場面により、法務手続文書等を自動作成する機能。
保存文書検索機能 「UC文書保存検索システム」との連携	入会申込書等の文書を、即時に検索・照会する機能。

UC延滞債権回収システム CASYS 概要図



## 2. 連携システム

### リスクマネジメントシステム「UC与信戦略実行システム」

クレジットカードの入会から回収にいたる全ての局面において個々のお客様のリスクを一貫して分析・管理し、利益の極大化・コストの極小化を図るリスクマネジメントシステム。本システムにより、お支払いが遅れたお客様への対応の優先順位付けを行うことが可能。業務効率が大きく向上する。

### 文書保存システム「UC文書保存検索システム」

お客様から受け付けた入会申込書、本人確認書類、諸変更届等をイメージデータで保存するシステム（容易に検索可能）。連携により、即時に必要な書類の確認が可能となる。

以上